

特集

成長分野への 投資拡大



株主の皆様へ



明るく元気にグループを牽引して、
古河電工ブランドの強化と業容拡大に邁進します。

株主の皆様には、平素より格別
のご支援、ご厚情を賜り、厚く御
礼申し上げます。

本年4月1日付で代表取締役
社長に就任した小林敬一でござ
います。微力ではございますが、

古河電工グループの発展のため、粉骨砕身精進してまいる所存
ですので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し
上げます。

さて、2016年度は、円高や銅地金価格下落の影響により減収
となりましたが、情報通信ソリューション事業の光ファイバ・ケー
ブル需要が北米を中心に旺盛であったほか、自動車部品事業の
海外拠点における生産効率化、銅箔事業の構造改革効果、半導
体製造用テープの販売好調などにより、前期に比べ大幅な増益と
なりました。この業績結果等を踏まえて、2016年度の配当金は、
1株あたり55円に増配いたしました。(詳細については、最終頁の
「配当金のお支払について」をご参照願います)

2017年度につきましては、全事業セグメントにて増収を見
込む中、前期より推進している中期経営計画「Furukawa G
Plan 2020」における注力分野を中心に、研究開発や設備増強
等の先行投資を強化するため、営業利益は減益となる見込み
ですが、持分法投資損益の改善などにより、純利益では増益
を確保できると予想しております。

世界が大きく、そして急速に変化している中、スピードを緩
めることなく変革を継続し、すべてのステークホルダーに安心
と期待を持っていただくために、「情熱、執念、誇り」をスロー
ガンに、明るく元気にグループを牽引して、古河電工ブランド
の強化と業容拡大に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

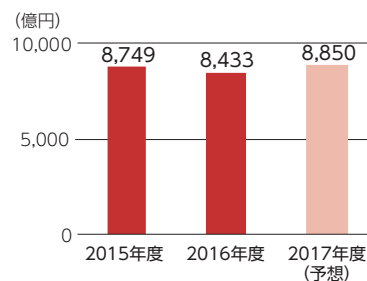
2017年6月

古河電気工業株式会社
代表取締役社長

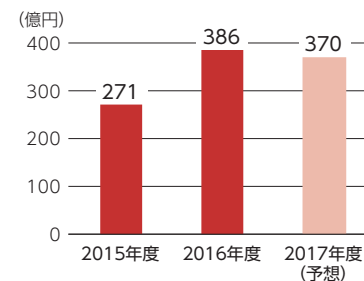
小林 敬一

業績ハイライト

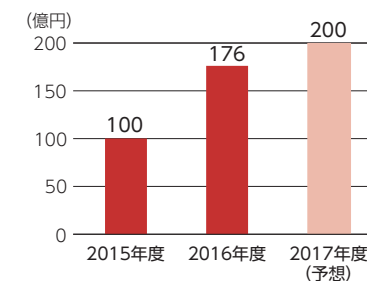
連結売上高



連結営業利益



連結当期純利益



配当金

2016年度 (1株あたり)	
中間	0円
期末	55円
2017年度予想 (1株あたり)	
中間	0円
期末	60円

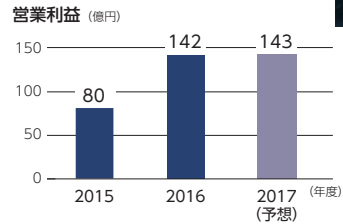
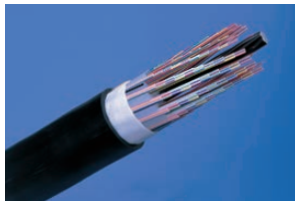
2017年度の営業利益予想

2017年度の営業利益の予想についてセグメント(サブセグメント)ごとに説明します。

インフラ

情報通信ソリューション

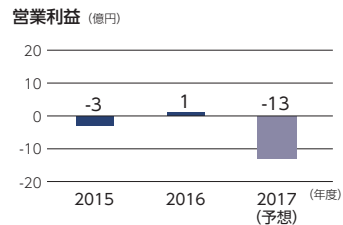
- 北米を中心とした光ファイバ需要が堅調に推移
- 将来の成長に向けた設備投資、研究開発投資を拡大



1000心光ファイバケーブル

エネルギーインフラ

- (株) ビスカスの電力ケーブル事業譲り受けによって増収となるものの、製品構成が悪化
- 将来の需要増に備えた設備投資、研究開発費を拡大



CVケーブル

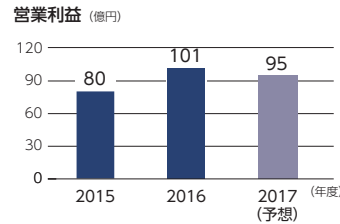
電装エレクトロニクス

自動車部品・電池

- 海外における自動車用電池の売上増加を見込む
- 将来の成長に向けた設備投資、研究開発投資を拡大



ワイヤーハーネス

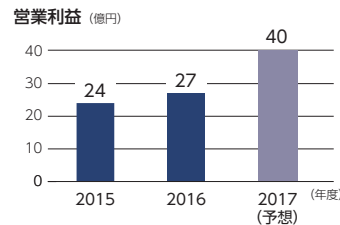


電装エレクトロニクス材料

- 伸銅品の生産数量増、製品構成の改善などから増益



無酸素銅

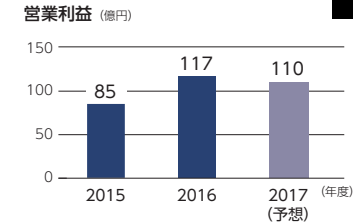


機能製品

- 半導体製造用テープと銅箔の需要は堅調であるものの、競争環境が激化



半導体製造用テープ

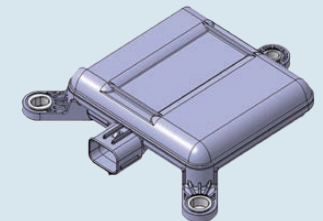


TOPICS

「周辺監視レーダ」の開発に成功、量産化を開始

のたび当社は、世界トップレベルの検知性能と安定性を有する「24GHz (ISM帯) 後方周辺監視レーダ」の開発に成功し、2016年11月に量産を開始しました。今回、開発に成功した「周辺監視レーダ」は、当社グループが有する大容量光通信用機器や不感地対策システムなどで長年培われた信号伝送技術や高周波技術を結集・応用した製品です。

今後とも検知性能、安定性などの向上に取り組むとともにさまざまな車種に提案することで、将来の自動運転システムの実現に貢献してまいります。



周辺監視レーダ

成長分野への投資拡大

中期経営計画の達成に向けて、インフラや自動車関連を中心とした「成長分野」への設備投資、研究開発投資を強化します。

(単位：億円)

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 計画	前年度差
設備投資	257	316	380	+64
減価償却費	232	234	265	+31
研究開発費	168	175	194	+19

▶ 主要な設備投資、研究開発費の内容

情報通信ソリューション

需要拡大が続く光ファイバ、フォトニクス製品の増産と高付加価値製品のための開発投資

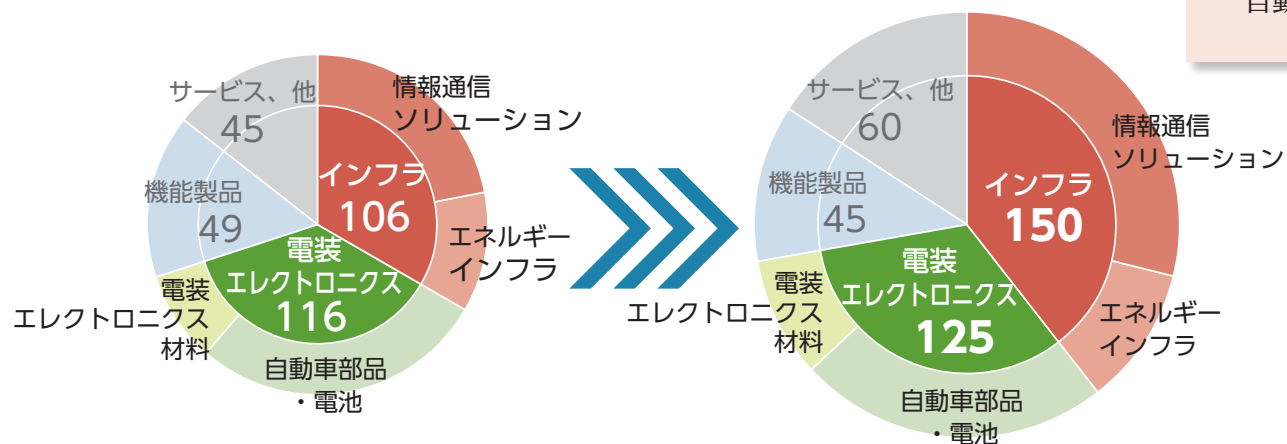
エネルギーインフラ

電力ケーブル事業を再編成*し、市場要求に応える生産体制を構築

自動車部品・電池

自動運転・電動化に向けた部品事業の開発加速

▶ セグメント別設備投資 (単位：億円)



2016年度実績 **316**億円

2017年度計画 **380**億円



光ファイバ



電力ケーブル

*2016年10月に、ビスキャスから地中送電線および海底送電線事業の国内部門を譲り受けました。

工場見学会(三重)

例年ご好評をいただいております株主様限定の工場見学会を三重事業所にて行います。注力分野である、光通信と自動車部品事業を抽選で50名様にご覧いただく予定です。

50名様
ご招待

2018年版 古河電工 オリジナルカレンダー

500名様
プレゼント



古河電工オリジナルカレンダー(2018年版)を抽選で500名様にプレゼントいたします。

※工場見学会・カレンダー両方のご応募も可能です。

2017年
9月26日(火)

三重事業所(三重県亀山市)

※集合場所までの交通費は、自己負担となります。あらかじめご了承ください。

三重事業所



光ファイバケーブル 自動車部品

ご応募方法はこちら



WEBでのご応募が便利で簡単です。

当社HPの「工場見学会・カレンダーご応募」のページより、ご応募ください。



※ハガキでのご応募も可能です。

郵便ハガキに下記事項をご記入の上、ご応募ください。

- ・氏名・年齢・ご住所・お電話番号
- ・ご応募内容(工場見学会のみ・カレンダーのみ・両方)
- ・見学会ご同伴者(小学生以上1名様可)の氏名/年齢

【宛先】〒100-8322
東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
古河電気工業(株)
「工場見学会・カレンダープレゼント」係

ご応募期限

2017年7月31日(月) ※ハガキの場合は消印有効

抽選結果

●工場見学会

当選された方にのみ8月31日(木)までにeメール(ハガキでご応募の方には書面)にてご連絡いたします。

●カレンダー

12月上旬の発送をもって発表にかえさせていただきます。

※通信費・郵送費などご応募に関する費用は、応募者様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

※その他、工場見学会・カレンダープレゼントに関するお問い合わせは、当社HP「工場見学会・カレンダーご応募」ページよりお問い合わせください。

定時株主総会に関するご報告

2017年6月22日開催の当社第195回定時株主総会の決議の結果につきましては、インターネット上の当社HPに掲載しておりますので、そちらをご高覧ください。

当社HP URL <http://www.furukawa.co.jp/>

株主メモ

- 事業年度の末日：毎年3月31日
- 定時株主総会：毎年6月
- 公告方法：電子公告 <http://www.furukawa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載)

株主名簿管理人および特別口座 口座管理機関事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル平日9:00~17:00)
※住所変更等の事務お手続きは、お取引証券会社などにてお手続きください。

配当金のお支払いについて

第195期期末配当金は、1株につき55円と決定いたしました。なお、当社は、2016年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、本期末配当金は株式併合後換算で前期比15円の増配となります。配当金を「配当金領収証」によりお受け取りいただく方には、「配当金計算書」および「期末配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局において、払渡(お支払)期間中にお受け取りくださいますよう、お願い申し上げます。

【払渡(お支払)期間】：2017年6月23日から2017年7月31日

※次回から口座振込みをご希望の場合は、お取引証券会社にお問い合わせください。

※確定申告の際の添付資料には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。

お問い合わせ先

決算・企業情報に関するお問い合わせ

電話 03-3286-3050 (古河電気工業株式会社 IR・広報部)

株式事務に関するお問い合わせ※

電話 0120-288-324 (みずほ信託銀行株式会社 証券代行部)

※上記またはお取引証券会社などにお問い合わせください。



GREEN PRINTING JAPAN
FSC C018976



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
www.fsc.org FSC C018976



Waterless
Printing. Naturally.